

建築 講座 (建築意匠)

番号	B-01	担当教員	建築 安藤 淳一 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50 分
授業題目	折り紙建築で作る世界遺産					オンライン 対応	不可
授業内容	建築のかたちや空間の面白さを体験できるものに建築模型があります。本学建築学科での専門課程には、建築模型を制作する授業がありますが、高校生にも取り組める建築模型があります。それは、1枚の紙から作ることでできる「折り紙建築」。世界遺産に登録されている有名建築を1枚の紙から製作します。完成後、モチーフとなった世界遺産の建築の魅力の説明をはじめ、そのかたちが生まれてきた背景や影響を与えた建築など、パワーポイントを使いながら解説します。						
授業のねらい (対象とする生徒)	過去から未来へと引き継いでいかなければならない「世界遺産」。そのなかでも文化遺産でもある建築を、1枚の紙を切り折り加工し製作してみましょう。			授業形式	実技 + 解説		
				受講定員	数名～40名 (クラス単位)		

番号	B-02	担当教員	建築 佐藤 善太郎 教授	対象	工業高校(建築)生対象	所要時間	60 分程度
授業題目	CAD・CGで広がる建築の世界 (基礎編 60 分)					オンライン 対応	不可
授業内容	建築の表現はここ数年で大きく様変わりしました。従来の手描きによる表現から、CADやCGによるコンピュータ表現への転換です。この授業では、星槎道都大学建築学科の学生作品をとおしてコンピュータを使う意義を考えます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	今や建築表現には欠かせないCADですが、使い方次第で作品が良くも悪くもなります。ここでは、CADを使う意味を考えてみましょう。			授業形式	講義		
				受講定員	30 名程度		

番号	B-03	担当教員	建築 向井 正伸 専任講師	対象	全ての課程・学年	所要時間	50 分
授業題目	窓から考えるインテリアデザイン					オンライン 対応	不可
授業内容	建築模型の製作を通じて、空間設計の面白さを学ぶ授業です。4畳半の大きさの空間模型を用いて、インテリアを決める主要な要素である床や壁・天井の素材選定、窓の位置・大きさをデザインしてもらいます。 →最終的に光の具合などをスマホで写真撮影して終了						
授業のねらい (対象とする生徒)	建築模型の製作を通じて、空間設計の面白さを学ぶ授業です。建築や物作りに関心のある方向けの授業です。			授業形式	演習		
				受講定員	最大 10 名		

建築 講座 (建築計画)

番号	B-04	担当教員	建築 安藤 淳一 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50 分
授業題目	地域防災入門 ― 災害は冷淡で非情です ―					オンライン 対応	可
授業内容	地震・津波・大雨・竜巻などの気象の変化に伴って発生する自然災害に対し、都市はどのような防衛対策をとっているのでしょうか。その防衛対策に貢献するのが建築であり、建設業です。過去の災害の事例をもとに、実際に試みられている対策を紹介します。そして、皆さんの日常生活の中でどのようなことが防災への取り組みに繋がるのかを考えてみましょう。						
授業のねらい (対象とする生徒)	東日本大震災から12年が経ち、自然災害への対応が大きく変わってきました。そのなかで、地域の防災に対し建築の役割、それを支える建設業の存在の大きさが再認識されています。自分のまちの防災について、考えてみましょう。			授業形式	講義		
				受講定員	数名～40名 (クラス単位)		

建築 講座（建築計画）

番号	B-05	担当教員	建築 佐々木 哲之 特任教授	対象	工業高校（建築）生対象	所要時間	50 分
授業題目	自然環境が導く建築デザイン					オンライン 対応	可
授業内容	自然が人間環境に寄与する貢献には大きいものがあり、その恩恵がなければ、そこでの生活も成り立ちません。しかし、自然は人間に厳しくもあります。その中で快適な空間を求め、なおかつ環境に対して負荷の小さい建物をつくるには、地域の気候や生態系を考慮して計画を進めることが重要です。それはおのずと地域色・地方色の強いものとなります。そこで環境意識の高い、個性豊かなデザインが生まれます。その先進事例をスライドで紹介していきます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	常に存在する「光、熱、空気」と建築物との関わりや、機能を考えてデザインされた建築物の形に興味を持てるよう講義します。			授業形式	講義		
				受講定員	数名～40名（クラス単位）		

建築 講座（建築景観）

番号	B-06	担当教員	建築 伊藤 裕康 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50 分
授業題目	まちの景観と“場所”のデザイン					オンライン 対応	可
授業内容	全国には、その地域やまちならではの景色があります。それは、そのまちで盛んな産業や歴史的成り立ち、地域の文化や伝統を守ろうとする積極的な取り組みが「まちの景観」として私たちの目に映っています。しかし、同じ景色を眺めても、人によって受け取り方はさまざまです。ここでは、まちの中で普段見られる街路灯やベンチなどのストリート・ファニチャーのデザインを例に、まちの景観デザインについて考えていきます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	まちの公共空間をより快適な空間にするためには、景観についても考える必要があります。ここではまちの景観を見ていき、その場所をデザインするのに何が必要であるのかについて考えます。			授業形式	講義		
				受講定員	数名～40名（クラス単位）		